

- 問1 ある地域の2万5千分の1地形図において、海岸線から内陸に向かって数えて3本目の主曲線上に津波避難所が設置されている状況を想定します。海岸線の標高を0mとしたとき、この避難所の標高として読み取れる数値はどれですか。（2018年 沖縄県公立入試 類似）
1. 約40m 2. 約30m 3. 約10m 4. 約20m
- 問2 日本の大動脈である東海地方において、東名高速道路と並行するように新東名高速道路が整備されています。このように、既存の路線に並行して新たな路線を確保する「ダブルネットワーク化」を進める最大の目的は、防災の観点からどのような事態を回避することにありますか。（2022年 奈良県公立入試 類似）
1. 観光客向けの休憩施設が不足し、特定の地点で交通集中による大規模な渋滞が頻発する事態 2. 路線の分岐点が少ないことで、沿線の工業団地から港湾への所要時間が大幅に遅れる事態 3. 大型トラックの通行量を分散させることで、路面の摩耗による修繕費用が増大する事態 4. 大規模な自然災害が発生した際、一方が通行不能になっても交通が完全に遮断される事態
- 問3 地形図から河川の流れる向きや上流・下流を判断する際、等高線と標高の関係について述べたものとして正しいものはどれですか。（2020年 三重県公立入試 類似）
1. 河川は常に等高線に対して並行に流れる性質を持っており、標高の変化は関係ない。 2. 等高線の数値が示すのは森林の高さであるため、河川の流向を判断する材料にはならない。 3. 等高線の密度が高い（間隔が狭い）地点ほど、河川の下流に近い平地である。 4. 等高線が示す標高の数値が大きいい地点ほど、河川の上流側に位置している。
- 問4 静岡県の大井川周辺など、山地から平野に出る場所で河川の勢いが弱まり、土砂が堆積してできた扇形の地形の名称と、その土地利用の特徴の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2025年 京都府公立入試 類似）
1. 扇状地：水はけが良い性質を活かし、茶畑や果樹園などに利用される。 2. 台地：周囲より一段高い平坦な地形で、古くから広葉樹林のまま保持される。 3. 海岸段丘：海食によってできた階段状の地形で、主に港湾施設として利用される。 4. 三角州：泥などが堆積した低湿地であり、主に水田として利用される。
- 問5 ある日本の都市の気象統計において、年平均気温が約18℃、年降水量が約1250mmであり、7月から8月にかけて気温が最も高く、6月と9月から10月にかけて降水量の山が二つある場合、この都市の冬（12月～2月）の気候の仕組みとして適切なものはどれですか。（2024年 千葉県公立入試 類似）
1. 暖流である日本海海流の上を通る湿った季節風により、大量の雪が降る。 2. 北西からの季節風が山脈を越えて吹き下ろすため、乾燥した晴天の日が多くなる。 3. 赤道付近で発生する熱帯低気圧が頻繁に通過するため、夏よりも降水量が多くなる。 4. 北東から吹く冷たく湿った気流（やませ）の影響で、気温が上がらず雨が降りやすくなる。
- 問6 「防災への心がまえ」をテーマにした調べ学習において、災害による被害を最小限に抑えるために、各家庭で事前に取り組むべき活動の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2017年 沖縄県公立入試 類似）
1. 家族との連絡方法は災害が起きるから公衆電話を探すこととし、備蓄については賞味期限が切れるのを防ぐために一切行わない。 2. 地震の揺れによる家具の転倒は防げないため対策は行わず、災害が発生した後にテレビやインターネットで初めて避難場所を調べる。 3. 商店が多いため食料の備蓄は行わず、その代わりに避難所での生活を快適にするための大型家電を非常持ち出し袋に準備する。 4. 避難経路の確認を行い、家具の転倒防止器具を設置した上で、家族との連絡方法をあらかじめ決め、数日分の食料を備蓄する。
- 問7 ダムなどの水源から用水路を通して農地に水を供給することを灌漑といいます。地形図において、灌漑水路の標高を境に土地利用が変化する場合、水田が水路よりも標高が低い場所に多く見られる理由として適切なものはどれですか。（2023年 熊本県公立入試 類似）
1. 標高が低い場所は土壌に含まれる水分量が多いため、灌漑の必要がないから。 2. 水路より高い場所では、水田からの浸透水によって地滑りが発生する危険があるから。 3. 標高が低い場所は平坦な土地が多く、機械を導入した大規模な稲作に適しているから。 4. 重力を利用して、追加の動力なしで水路から田へ水を引き入れることができるから。
- 問8 日本の海岸沿いに広がる埋め立て地は、標高が低く、地盤が弱いという地形的な特徴を持っています。このような土地において、台風の接近時や大規模な地震の発生時に想定される物理的な被害や影響の説明として、最も適切なものを選択してください。（2026年 神奈川県公立入試 類似）
1. 森林が多いため、台風の強風によって倒木が発生し、それらが地滑りを引き起こす。 2. 火山に近い場所が多いため、噴火による溶岩流や降灰による建物の倒壊が主なリスクとなる。 3. 標高が高いため、地震の揺れによって大規模な土砂崩れが発生し、交通網が遮断される。 4. 強い風や気圧の変化による高潮の影響で、大規模な浸水被害が発生するリスクが高い。
- 問9 河川が氾濫した際に、水とともに運ばれた土砂が河道沿いに堆積して形成された、周囲の平地よりもわずかに標高が高い土地を何といいますか。（2018年 静岡県公立入試 類似）
1. 砂州 2. 河岸段丘 3. 自然堤防 4. 三角州
- 問10 九州の南方に位置する島で、年間降水量が極めて多い気候条件により、樹齢数千年とされる縄文杉をはじめとした独自の森林生態系が形成されている世界自然遺産はどれですか。（2020年 茨城県公立入試 類似）
1. 白神山地 2. 小笠原諸島 3. 知床 4. 屋久島
- 問11 地形図において、本来の複雑な入り組みを持つ海岸線が、港湾施設の建設や工業用地の確保のために土砂やコンクリートで整備され、不自然に直線的に描かれている海岸を何というか、最も適切なものを答えなさい。（2020年 沖縄県公立入試 類似）
1. リアス海岸 2. 人工海岸 3. 扇状地 4. 三角州
- 問12 無電柱化を推進する自治体の計画において、病院の周辺や交通量の多い国道を「最優先で整備すべき地域」とし、学校の周辺などを「それに次いで整備する地域」と区分することがあります。このように地域特性に応じて優先順位をつける理由として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 長野県公立入試 類似）
1. 交通規制の影響を最小限にするため、もともと交通量が多く電柱の数も少ない地域から着手するのが効率的だから。 2. 交通量の多い地域ほど電線を地下に埋める工事費用が安く済み、短期間で事業を完了させることができるため。 3. 学校周辺よりも病院や国道沿いの方が、無電柱化による景観改善が観光客の増加に直結しやすいと考えられているため。 4. 災害発生時に人命救助の拠点となる施設や、物流の幹線となる道路の通行を最優先で確保する必要があるため。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 約30m	2万5千分の1の地形図における等高線の主曲線は10m間隔で設定されています。海岸線を標高0mの基準とした場合、内陸に向かって1本目の主曲線は標高10m、2本目は20m、3本目は30mを示します。したがって、3本目の主曲線付近に位置する避難所は、海面から約30mの高さにあることが判断できます。このように地形図の情報を正しく読み取することは、地域の防災計画を理解する上でも重要です。
問2	答え 4 大規模な自然災害が発生した際、一方が通行不能になっても交通が完全に遮断される事態	日本の東西を結ぶ交通の要所である東海地方では、南海トラフ巨大地震などの自然災害によって道路が寸断されるリスクが常に指摘されています。東名高速道路に加えて新東名高速道路を整備し、二重の交通網（ダブルネットワーク）を構築することで、仮に一方が被災して通行不能になっても、もう一方を代替路として活用し、物資の輸送や救急活動を継続できるようになります。渋滞緩和や移動時間の短縮も利点ではありますが、入試地理の文脈では「国土強靱化」や「リダンダンシー（冗長性）」の確保という防災上の背景が重要視されます。
問3	答え 4 等高線が示す標高の数値が大きい地点ほど、河川の上流側に位置している。	等高線は海拔（標高）が等しい地点を結んだ線であり、地形の起伏を表現しています。水は高いところから低いところへと流れるため、河川に沿って標高を比較した際、数値が大きい（高い）地点が上流、数値が小さい（低い）地点が下流となります。このように、地形図読解では等高線から得られる高度情報が流向判定の決定的な根拠となります。
問4	答え 1 扇状地：水はけが良い性質を活かし、茶畑や果樹園などに利用される。	河川が山地から平野や盆地に出る際、勾配が急に緩やかになることで運搬力が弱まり、砂や礫が堆積して扇状地が作られます。扇状地の頂に近い部分は特に水はけが良いため、古くから果樹園や茶畑として利用されてきました。選択肢にある三角州は河口付近に形成される泥主体の地形で水はけが悪く、水田に利用されることが多いため、扇状地の特徴とは異なります。
問5	答え 2 北西からの季節風が山脈を越えて吹き下ろすため、乾燥した晴天の日が多くなる。	示された統計は、夏に気温と降水量のピークがあり、冬に降水量が落ち込む太平洋側の気候（東京など）の特徴を示しています。冬はシベリア高気圧から吹き出す冷たく乾いた北西の季節風が、日本海側で水分を雪として落とした後、奥羽山脈や飛騨山脈などを越えて太平洋側に吹き下ろします。このため、太平洋側の地域では冬に乾燥した晴天が続くというメカニズムが生じます。
問6	答え 4 避難経路の確認を行い、家具の転倒防止器具を設置した上で、家族との連絡方法をあらかじめ決め、数日分の食料を備蓄する。	防災対策は、発生した際の「行動」だけでなく、発生前の「準備」が重要です。ハザードマップ等を用いた避難経路の確認、負傷を防ぐための家具の固定、安否確認手段の共有、そしてライフラインの停止に備えた食料の備蓄など、多角的に備えることが生存率を高めることにつながります。
問7	答え 4 重力を利用して、追加の動力なしで水路から田へ水を引き入れることができるから。	水田農業において、必要な時期に安定して水を供給することは極めて重要です。地形図上で水路より低い位置に水田が分布しているのは、水路の途中に設けた取り入れ口を開けるだけで、重力によって自然に水が田に流れ込む仕組みを作れるからです。これにより、電気や燃料を使ったポンプなどの設備を最小限に抑えた効率的な土地利用が可能になります。
問8	答え 4 強い風や気圧の変化による高潮の影響で、大規模な浸水被害が発生するリスクが高い。	埋め立て地は海面との高低差が少ないため、台風による気圧の低下や強風によって海面が上昇する高潮が発生すると、容易に海水が入り込み浸水被害をもたらします。また、地震の際には、その地盤の性質から液状化現象が起こりやすく、都市機能に重大なダメージを与えることが防災上の大きな課題となっています。土砂崩れや火山噴火は、一般的に山地や火山周辺のリスクであり、標高の低い埋め立て地の主な特徴とは言えません。
問9	答え 3 自然堤防	河川が氾濫した際、流速が落ちる河道沿いに土砂が堆積することで形成される微高地です。周囲の低湿地に比べて水はけが良く、洪水時の浸水被害を抑えられるため、古くから居住地として利用されてきました。これに対し、三角州は河口付近に形成される低地、河岸段丘は川の浸食によってできた階段状の地形を指します。
問10	答え 4 屋久島	この島は「洋上のアルプス」と呼ばれるほど急峻な山々が連なり、海からの湿った風がぶつかることで多量の雨を降らせます。栄養分の少ない花崗岩の土壌という厳しい環境下で、スギが身を守るために樹脂を多く蓄えながらゆっくりと成長した結果、腐りにくく長寿な「屋久杉」や「縄文杉」が育まりました。海岸付近の亜熱帯から山頂付近の亜寒帯まで、植物の垂直分布が一本の島で見られる点も高く評価されています。
問11	答え 2 人工海岸	都市部や工業地帯では、土地を効率的に利用するために海を埋め立てて新たな用地を創出することがあります。その結果、自然の曲線的な海岸線は失われ、地図上では定規で引いたような直線的な形状として表現されます。これに対し、リアス海岸は沈水によってできた複雑な入り江を持つ自然の地形です。
問12	答え 4 災害発生時に人命救助の拠点となる施設や、物流の幹線となる道路の通行を最優先で確保する必要があるため。	防災計画では、災害時の機能維持が特に求められる場所から優先的に対策が行われます。救急受け入れを行う病院や、支援物資を運ぶ大型車両が通る幹線道路が電柱倒壊で通行不能になると、被害が拡大する恐れがあるため、これらを結ぶルートが最優先の整備対象となります。